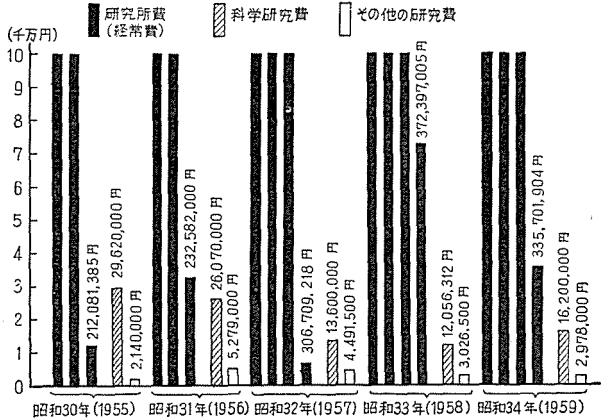


D. その他の研究費（昭和 34 年度）

委員会および諸団体より 2,978,000

総 計 (B + C + D) 354,879,904 円



過去 5 ケ年間の諸費増減比較表

IV. 昭和 34 年度の研究成果発表の状況

出 版 物

次の 3 種がある。

東京大学生産技術研究所報告（略称：生研報告）

所員のまとまった研究成果を発表する。文は和文または欧文とし、不定期発行で年間 10 種前後を出している。

生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で出している。

以上は、当所の発行の分で、その他随時に学会誌、協会誌の各誌に発表している。

生研リーフレット

生研の研究成果で、実用化への手引とするため、簡略に写真中心に編集したもので、現在 76 種を発行している。

昭和 34 年度（4 月～3 月）に発表した分を次に列挙する。

### A. 東京大学生産技術研究所報告（研究発表誌）

巻号	題	目	著者	発行年月
8・6	天然色航空写真に関する研究（英文）		丸安 隆和 西尾 元充	35. 3
9・1	微分解機に関する研究		渡辺 勝	35. 3
9・2	鉛-アンチモン合金の時効およびそれにおよぼす微量元素の影響に関する基礎的研究		西川 精一	35. 3

### B. 生産研究（月刊研究紹介誌）

巻号 (発行年月)	題	目	著者
11・4	パラメトリック増幅器とその雑音指数		斎藤 成文
(34. 4)	高炉スラグ碑石を骨材として用いたコンクリートの性質について		丸安 隆和・小林 一輔 水野 俊一
	ダム見学の記事		岡本 舜三
	平板上に設けた堰による剥離流の熱伝達（速報）		橘 藤雄・塩沢 晃
	ADP 光変調器の低周波特性とその応用（速報）		鳥飼 安生・藤森 聰雄 李 孝雄
	嵌殺し窓の気密水密試験（速報）		勝田 高司・後藤 滋 寺沢 達二
	ファイバー・ダクトの遮音性能に関する実験（速報）		勝田 高司・後藤 滋 寺沢 達二
11・5	生研に期待す		星合 正治
(34. 5)	星合先生の還暦ご退官を記念して		藤高 周平
	複素数領域における円筒関数の商関数		尾上 守夫
	プロセス制御でのむだ時間対策		森 政弘
	フランスの工業（その 1）		菊池 真一
	木毛セメント板の吸音特性（速報）		渡辺 要・石井 聖光 木村 翔
	箱型消音器の消音特性（その 2）		勝田 高司・後藤 滋 寺沢 達二
	一入口出口径の異なる場合一（速報）		

11・6 (34. 6)	東京大学生産技術研究所 10 周年誌 生産技術研究所 10 年の歩み 付. 第二工学部時代 回想 三つの憶い出 29. 4. 1 から 32. 3. 31 まで 停年前の 1 カ年, 1957年度を省みて 各研究室の研究概要 総合研究の概要 中間試験研究の概要 受託研究の制度と概要 研究所の機構図 研究所の所員表 (現所員・旧所員) 研究所経費の概要 研究所の出版物 (付東京大学生産技術研究所報告リスト)	所長 福田 武雄 瀬藤 象二 兼重寛九郎 星合 正治 谷 安正 第 1 部～第 5 部
11・7 (34. 7)	創立 10 周年記念特集 祝 辞 祝 辞 祝 辞 あいさつ 10周年記念行事 Combind Stress の下におけるコンクリートの破 壊性状—鉄筋コンクリートの曲げ破壊性状について— 斜流ポンプ ヨーロッパにおける自動制御界を視察して フランスの工業 (2) Pb-Sb 合金の時効に関する研究 —Pb-2% Sb 合金の時効におよぼす As の影響—(速報) 自動曲線の追従装置の二次元制御 (速報)	茅 誠司 中原 延平 瀬藤 象二 福田 武雄 高橋 武雄 坪井 善勝・末永 保美 井田 富夫 大島康次郎 菊池 真一 西川 精一 渡辺 勝・渡部 弘之
11・8 (34. 8)	カップ 150 G について カップ 6 型ロケットについて カップ 6 型-TW ロケットについて カップ 6 型-RS ロケットについて カップ 150 G, 245, 6 型の性能計算	糸川 英夫 糸川 英夫 糸川 英夫 糸川 英夫 広沢 晴夫・北坂 秋秀

巻号  
(発行年月)

題

目

著者

11・8 (34. 8)	カップ 150 G, 245, 6 型の重量, 重心, 慣性モ ーメント	糸川研究室
	カップ 6 型ロケットの風洞試験	玉木 章夫・三石 智 永井 達成
	カップ 6 型用ランチャーおよびランチャードーム について	森 大吉郎・富田 文治 古田 敏康・石橋 直
	カップ 6 型ロケットの振動試験結果	森 大吉郎
	カップ 6 型用振動計および計測結果	吉山 巖・中村 円生
	カップ 6 型加速度計と計測結果	吉山 巖・中村 円生 広沢 暁夫
	ロケット搭載用抵抗線歪計と白金線温度計	森 大吉郎・富田 文治 岡田 繁
	カップ 6 型におけるテレメータ実験について	テレメータ研究班
	K-6 型テレメータ送信機	大井 克彦・佐伯 昭雄
	150 型レーダ・トランスポンダ	倉茂 周芳・瓜本 信二
	カップ 6 型ロケット航跡標定結果	レーダ研究班
	カップ 150 G 用時間軸および着火装置について	吉山 巖・中村 円生 熊取谷博偉
	カップ 6 型-TW 1.2 号機用時間軸および 着火装置について	吉山 巖・中村 円生 熊取谷博偉
	気温・風測定用発音弾について	吉山 巖・皆川 清 内田 吉保
	上層における気温・風の観測	前田 憲一・竹屋 芳夫 松本 治弥・奥本 隆昭
	RS 型の切断系について	戸田 康明・板橋 宗雄 垣見 恒男・松浦 崇
	RS 型切断および白煙テストについて	戸田 康明・板橋 宗雄 加志村徳次郎・磯田正路 垣見 恒男・斎藤 国治
	ロケット分光器	西 恵三・河野 毅 吉山 巖・尾島 学二
	カップ 6 型ロケット回収用フロートについて	成沢 一男・間野 吉雄 渡辺 太郎
	カップ 6 型-CP 1.2 号機の宇宙線観測	宮崎友喜雄・竹内 一 今井 喬・大塚 好造

11・8 (34. 8)	<p>カップ6型-CP 1, 2号機による気圧観測</p> <p>カップ6型-245B型の光学的追跡について —高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究(第25報)—</p> <p>カップ6型-1.2号機の光学的追跡について — 同 上 (第26報)—</p> <p>カップ6型-TW 1.2号機の光学的追跡について — 同 上 (第27報)—</p> <p>カップ6型-3.4号機の光学的追跡について — 同 上 (第28報)—</p> <p>カップ6型-TW 3.4号機の光学的追跡について — 同 上 (第29報)—</p> <p>カップ6型-RS 1.2号機の光学的追跡について — 同 上 (第30報)—</p> <p>カップ6型-CP 1.2号機の光学的追跡について — 同 上 (第31報)—</p> <p>カップ6型-TW 5号機の光学的追跡について — 同 上 (第32報)—</p> <p>カップ5型接合部切断実験について</p> <p>122FT 飛しょう実験記録</p> <p>カップ6型飛しょう実験における通信連絡</p> <p>秋田県協力会警備打合会概要(2)</p> <p>カップ150G, 245, 6型1~4号機, TW 1~5号機, RS 1.2号機, CP 1.2号機 飛しょう実験記録</p>	<p>成田 昭三・刈谷志津郎 富永 五郎・岡田 繁 金 文沢 植村 恒義・山本 芳孝 山谷健三郎 植村 恒義・鈴木 忠男 鷹野 修二 植村 恒義・伊藤 寛治 鷹野 修二 植村 恒義・山本 芳孝 竹林 勇 植村 恒義・戸田 健次 鈴木 忠男 植村 恒義・山本 芳孝 田中 勝也 植村 恒義・鈴木 忠男 鷹野 修二 植村 恒義・長野 末光 伊藤 房江 戸田 康明・板橋 宗雄 加志村徳次郎 垣見 恒男・磯田 正路 時末 征 広沢 曄夫 高中 泓澄・横田 和丸 市川 初男・鈴木 康雄 下村潤二朗 広沢 曄夫 今岡 稔 浜崎 襄二 坪井 善勝・末永 保美</p>
11・9 (34. 9)	<p>ガラス用自記回転粘度計について</p> <p>トルク型の高感度マイクロ波電力計</p> <p>Combind Stress のもとにおけるコンクリートの 破壊—鉄筋コンクリート板の曲げ破壊性状について— これからの簡易耐火建築</p>	<p>坪井 善勝・末永 保美</p>

11・9	一待に新材料の防火性について	星野 昌一
(34. 9)	直流電動機の改良型動力測定装置 (速報)	沢井善三郎・稲葉 博
	DOVAP レーダ用ロケットアンテナの実験 (速報)	黒川 兼行・長谷部 望
	可変型定電圧装置 (速報)	山本 尚志
	イオン交換体としてのアルギン酸誘導体の研究 (速報)	山辺 武郎・田中 米吉 妹尾 学
	ブドー糖溶液の着色に対する	吉弘 芳郎・中村 亦夫
	5 オキシメチルフルフラールの役割 (速報)	
	その1 着色量とHMF量について	
	その2 HMFの着色を基礎にした糖液の着色の理論的考察	
11・10	最近の写真界	菊池 真一
(34. 10)	$\beta$ 線により生じた潜像の分布	菊池 真一・大石 恭史 木村 芳郎
	原子核乾板	古関 靖夫
	電子写真 (その3) —研究報告と進歩紹介—	野崎 弘・坂田 俊文
	無機現像液の概観	本多 健一
	超音波によるキャピテーションの高速撮影 (速報)	鳥飼 安生・藤森 聰雄 李 孝雄
11・11	精密圧延機の計画から試運転まで	鈴木 弘
(34. 11)	精密圧延機の構造および特性	鈴木 弘
	精密圧延機電気回路	東京大学生産技術研究所 鈴木研究室・第二精工舎 幸上無線KK
	連続圧延機張力制御装置	佐藤 武彦・伊藤敬之助 河西 孝美
	速度制御装置	樋口登志男
	試作精密圧延機用トルクコンバータについて	石原 智男・荒瀬 晟
	腕時計用動力ゼンマイに要求される諸性質とその材料について	佐藤 二郎・池田 国男 鎌田 伸男
	試作精密圧延機による圧延実験	鈴木 弘・橋爪 伸 小野 孝一
11・12	竹中二郎先生を憶う	岡本 舜三
(34. 12)	竹中二郎先生	大井光四郎
	工業における将来性ある	
	ラジオアイソトープの利用	加藤 正夫

11・12 (34. 12)	アメリカにおける最近の水利用についての諸問題 ユーゴスラビアにおける 国際溶接学会年次大会に出席して 新潟県の関屋海岸の沿岸流に関する模型試験 (速報) アーチダムの振動観測(速報)	安芸 皎一 一色 真文 井口 昌平・臼井 茂信 穴倉 進 岡本 舜三・加藤 勝行 伯野 元彦・荒川 常昭
	DOVAP レーダ用ロケットアンテナの実験 (その2)(速報) ブドウ糖溶液の着色に対する 5オキシメチルフルフラールの役割(速報) その3 pHと加熱による着色との関係 その4 酸性溶液中の着色およびHMF生成におよぼす 金属イオンの影響について	黒川 兼行・長谷部 望 立石 嘉徳 吉弘 芳郎 中村 亦夫
	Ni 80-Cr 20 合金の抵抗焼結—第2報— 試料形状の焼結進行におよぼす影響(速報)	原 善四郎・島崎 俊治 福田 武雄
12・1 (35. 1)	年頭の辞 伊勢湾台風によせて—防災科学技術のあり方について— 直流電動機電機子電流の速応制御 高速度掃引式シングルチャネル波高分析器 写真測量を利用した貯炭量の測定 ピトー管による水車流量測定法の基礎研究 —水圧管内の流れにおよぼすバンドの研究—(速報)	花井 正美 沢井善三郎・鄭 炳漢 森脇 義雄・河村 達雄 丸安 隆和・大島 太市 津田 昌明 古屋 七郎
12・2 (35. 2)	イオン交換発展の歴史 単位操作としてのイオン交換 イオン交換樹脂の分析化学への応用 無機化学工業とイオン交換樹脂 —とくにイオン交換膜とイオン交換法による海水処理について—	山辺 武郎 山本 寛 武藤 義一 山辺 武郎
12・3 (35. 3)	陽イオン交換体としてのアルギン酸 原子力工業とイオン交換樹脂 生研におけるロクーン研究について 生研以前の経過の概略 33年度、34年度ロクーン研究経過 ロクーン実験研究の概要	高橋 武雄・江村 悟 山本 寛 福田 武雄 中川 重雄 平尾 収 岡本 智

	題	目	著	者
12・3	ロクーン用ランチャー		戸田	康明
(35. 3)	ロクーン用ランチャーについての付記		岡本	智
	ロクーンの放球について		石井	千尋
	水素ボンベ運搬車と水素充填について		岡本	智
	気球について		八木	寿直・有野 勇
			大竹	庸郎
	ロクーン用気球の強さに関する二三の問題に ついて		大井光	四郎・浅野 六郎
	焼切り装置およびタイマー		中村	円生
	小気球用ナイロンロープ焼切り装置		戸田	康明
	ダミーロケットおよびロクーン各部の温度測定に ついて		戸田	康明・金 文沢
			岡田	繁・富永 五郎
			和波	衛身
	スピンメータ		倉茂	周芳・小羽根澄夫
	シグマ3型ロケット		戸田	康明
	シグマ3型ロケットの飛しょう性能		玉木	章夫・広沢 曄夫
	ロクーンにおけるテレメータの実験について		斎藤	成文・野村 民也
	本庄実験用ロクーンテレメータ送信機		倉茂	周芳・小羽根澄夫
			小賀	由章
	本庄実験用ロクーンテレメータ受信装置		倉茂	周芳・小羽根澄夫
	青森実験用ロクーンテレメータ送信機		倉茂	周芳・小羽根澄夫
			小賀	由章
	青森実験用ロクーンテレメータ受信装置		倉茂	周芳・小羽根澄夫
	計器桿に吊り下げたテレメータ装置について		仲丸	由正・佐伯 昭雄
			高橋	健一・木下 康昭
	上昇速度計および排風速度計とその測定結果		岡本	智
	ロクーン排風計および上昇速度計についての 風洞試験		玉木	章夫・永井 達成
	精密高度計・精密差圧計		三石	智・松尾 明之
			山口	隆男・岸上 元彦
			広田	雅人・二宮香二郎
			三浦	正史・渡辺 満男
	推進軸加速度計および計測結果 姿勢ジャイロ		吉山	巖・中村 円生
			山口	隆男・岸上 元彦
			二宮香二郎・渡辺 満男	
	太陽電池のロクーン実験		高橋	健一



巻号 (発行年月)	題 目	著 者
12・3 (35. 3)	成層圏よりの天頂輝度の偏光観測	斎藤 国治・河野 毅
	ロクーンによる宇宙線測定の詳細	秦 茂
	ロクーンによる宇宙線測定の詳細	宮崎友喜雄・今井 喬
	沖付海岸の気象および航跡	竹内 一
	ロクーン実験場の選定	北岡 龍海
	ロクーン実験における警備概況	下村潤二郎
	ロクーン飛揚実験における通信連絡	下村潤二郎
		高中 泓澄・立石 嘉徳 鈴木 康夫

C. 生研リーフレット 34年度分の発行はなかったので、リストは省略。

D. 著書および所外の学術雑誌等に発表したもの

## 第 1 部

教授 岡本 舜三

アーチ・ダムの石膏模型試験における精度について (田村重四郎と共著), 土木学会第 14 回年次学術講演会, 1959. 6.

名神高速道路区間の常時微動と設計震度の提案 (伯野元彦・久保慶三郎と共著), 第 3 回地震工学研究会発表会, 1959. 9.

アーチ・ダムの振動 (加藤勝行・伯野元彦・荒川常昭と共著), 第 3 回地震工学研究会発表会, 1959. 9.

Vibration of Arch Dam (加藤勝行・伯野元彦・荒川常昭と共著), Meeting on Earthquake Engineering, Messina, Italy, 1959. 11.

教授 久保田 広

眼鏡レンズの収差について (松居吉哉と共著), 応用物理 28, 520~526, 1959.

レスポンス函数実用化の研究—収差の計算と実測 (I), カメラ工業技術研究組合技術資料 29, 1, 1959. 9.

応用光学 (岩波全書), 岩波書店, 1959. 12.

コールラウシュ, 物理実験学, 第 3 巻光学, (邦訳) 商工出版.

教授 玉木 章夫

Flash X-Ray Radiography for the Density Measurement in a Hypersonic Air Flow, (金哲洙と共著), Journ. Phys. Soc., Japan, 14, 5, 664~669, 1959. 5.

観測ロケット, 日本物理学会誌 14, 8, 458~466, 1959. 8.

教授 末岡 清市

The Theory of the Photoneuclear Reaction Using the Independent Particle Model of the Nucleus, Can. Jour. of Physics, 37, 232, 1959.

助教授 大井光四郎

摩擦型抵抗線ひずみ計, 機械学会誌, **62**, 484, 1959. 5.

助教授 森 大吉郎

観測ロケットの機体の振動について, 航空学会誌, **7**, 64, 123~127, 1959. 5.

助教授 山田 嘉昭

塑性学 第I編 基礎理論, 日本機械学会, 機械工学講座, 1960. 2.

板材のプレス成形性試験機(試作)および一試験結果について, 日本機械学会誌, **62**, 489, 1437~1444, 1959. 10.

塑性設計について(連続体), 日本機械学会誌, **62**, 489, 1474~1483, 1959. 10.

塑性設計の基礎(I), 日本機械学会第118回講習会教材, 1~24, 1959. 5.

塑性設計の基礎理論(1), 機械設計, **3**, 10, 77~80, 1959. 10.

” (2), ” **3**, 11, 77~80, 1959. 11.

” (3), ” **3**, 12, 77~81, 1959. 12.

助教授 小瀬 輝次

普及型レスポンス函数測定機の試作研究(II)——2枚の走査チャートを用いたレスポンス函数測定機の試作——, カメラ工業技術研究組合技術資料, **28**, 13, 1959. 9.

光学機械(学会展望), 日本物理学会誌, **14**, 3, 128~130, 1959. 3.

E. H. Landの2色による色再現(斎藤弘義と共著), 光学ニュース, No. 44, 5~7, 1959. 8.

技官 北川 英夫

Some Behaviors of Structural Steel Subjected to Corrosion Fatigue (The 2nd Report) (岡本舜三と共著), Proc. 8th Jap. Nat. Cong. App. Mech., 187, 1959. 3.

腐食疲労を受ける鋼材の2, 3の特性(第3報)——平均応力の影響とレール鋼の腐食疲労——(岡本舜三・九里啓稔と共著), 第9回応用力学連合講演会論文抄録集, 第I部, 109, 1959. 8.

研究員 大和田 信

高温における金属の弾性率について(岡沢迪夫・菅野達也と共著), 千葉大学文理学部紀要, **2**, 4, 1960. 3.

遠距離目標に対するロケットの発射の条件, 日本航空学会誌, **7**, 66, 1959. 7.

地球ロケットの飛行仰角と飛行距離について, ロケット研究会ノート, **1**, 23, 東大航空研究所, 1959. 8.

2段衛星ロケットの発射エネルギーについて, 宇宙科学技術シンポジウムで講演, 1960. 2.

## 第 2 部

教授 竹中 規雄

試作空気油圧式微い装置について(鳴沢勇平と共著), 精密機械 **XXV**, 5, 189. 精機学

会, 1959. 4.

研削作用に関する研究(第2報)(笹谷重康と共著), 日本機械学会論文集, 26, 163,  
日本機械学会, 1960. 3.

教授 小川 正義

心無研削法に関する研究(第3報)——真円度の測定法ならびに固有歪円の生成実験——  
(宮下政和と共著), 精密機械 26, 3, 精機学会, 1960. 3.

教授 鈴木 弘

精密圧延機に関する研究(第1報・第2報)(橋爪伸・小野孝一と共著), 塑性加工専門  
講演会前刷, 1959. 11.

線材の捻回試験について(橋爪伸・綿貫保男と共著), 日本機械学会誌, 62, 489, 1959.  
10.

圧延, 機械の研究, 11, 1~12, 1959. 1~12.

教授 橘 藤雄

内側円筒の回転する同心二重円管の熱伝達(福井資夫と共著), 機械学会論文集 25, 156,  
1959. 8.

応用力学講座, 熱伝達論, 共立出版社, 1958. 11.

教授 巨理 厚

コイルばね設計に関する一般式について(小林節夫と共著), ばね論文集, 5, 1959. 8.

不等ピッチばねの設計法(小林節夫と共著), ばね論文集, 5, 1959. 8.

機械力学演習(小林節夫と共著), 共立出版, 1959. 5.

ばね(一部執筆), 丸善, 1959. 10.

教授 田宮 真

乱流促進に関する一考察, 船舶, 33, 1, 125~129, 天然社, 1960. 1.

甲板上の自由水について, 船の科学, 13, 1, 88~94, 船舶技術協会, 1960. 1.

教授 松永 正久

バレル仕上げ法(編集および一部執筆), 誠文堂新光社, 1959. 4.

研削油剤の使用状況(研削専門委員会報告の一部執筆), 精密機械, 15, 7, 338~348,  
1959. 6.

レンズ研摩機の運動(第1報, Dévé の理論の解説), カメラ工業技術研究組合報告, 25,  
10, 1~24, 1959. 8.

助教授 大島康次郎

非線形を含む流量制御系の解析例(黒崎和彦・岸田元規と共著), 自動制御, 7, 1, 13~  
19, 1960. 1.

特殊矩形波を利用したサーボアナライザ(早瀬実と共著), 自動制御連合講演会前刷,  
1959. 11.

油圧平衡方式サーボ弁の動特性試験(荒木献次と共著), 自動制御連合講演会前刷, 1959.

11.

- 高速ステップモータ (江川巖・有川正一と共著), 自動制御連合講演会前刷, 1959. 11.  
工作機械の数値制御, 計測, **10**, 1, 2~10, 1960. 1.  
自動制御の最近の発達, 機械の研究, **12**, 1, 1~4, 1960. 1.  
制御系動特性試験法, 機械の研究, **12**, 1, 53~61, 1960. 1.  
サーボ機構 1~6, 機械の研究, **11**, 8~12, 1097~1100, 1231~1236, 1365~1368, 1479  
~1483, 1625~1628, 1959. 8~12. **12**, 2, 309~314, 1960. 2.  
サーボ機構 (精密工学講座), 日刊工業, 1959. 4.

助教授 植村 恒義

- 瞬間写真用電氣的シャッタの研究 (第3報) (山本芳孝・山谷健三郎と共著), 第6回応用物理学関係連合講演会予稿集 I, 197, 1959. 4.  
毎秒 100 万駒以上の新型超高速カメラの設計 (伊藤寛治と共著), 第6回応用物理学関係連合講演会予稿集 I, 198, 1959. 4.  
ロケットの光学的追跡に関する研究 (第9報) (鈴木忠男・山本芳孝と共著), 第6回応用物理学関係連合講演会予稿集 I, 69, 1959. 4.  
ロケットの光学的追跡に関する研究 (第10報) (山本芳孝・鈴木忠男と共著), 第6回応用物理学関係連合講演会予稿集 I, 70, 1959. 4.  
Faraday 効果利用の電氣的シャッタによる導爆線の解析研究 (第2報) (山本芳孝他1名の共著), 工業火薬協会 33 年度研究発表会講演要旨集, p. 12, 1959. 4.  
ドラム式超高速カメラの研究: 映画技術, **91**, 37~42, 1959. 7.  
高速度写真による衝撃破壊機構の研究 (第1報) (山本芳孝と共著), 第9回応用力学講演会論文抄録集第1部, p. 117, 1959. 8.

助教授 安藤 良夫

- 溶接残留応力が脆性破壊におよぼす影響の研究 (第3報) (木原博と共著), 造船協会論文集, 105, 1959. 7.  
原子炉材料および溶接部の中性子照射効果, 溶接技術 **7**, 7, 449~456, 1959. 7.  
溶接残留応力が脆性破壊におよぼす影響の研究 (第4報) (木原博と共著), 造船協会論文集, 106, 1960. 1.  
On the measurement of the velocity of propagation of brittle cracks in steel plates by ultrasonic method, (丹羽登と共著) Third International Conference on Non destructive Testing, 1960. 3. 18.

助教授 石原 智男

- 差動型油圧伝動装置の性能 (第2報), 機械学会第36期通常総会講演会前刷, 1950. 4.  
最近の流体伝動装置について, 日本機械学会誌, **62**, 485, 968~974, 1959.

助教授 森 政弘

- プロセスのサンプル値制御での飽和対策, 第2回自動制御連合講演会前刷, 112, 1959. 11.

遅延積分動作, 第2回自動制御連合講演会前刷, 140, 1959. 11.  
サンプル値制御とその理論の歩み, 科学, 30, 1, 9~14, 1960. 1.

技官 橋爪 伸

高速変形抵抗, 日本機械学会誌 62, 489, 40~44, 1959. 10.

### 第 3 部

教授 藤高 周平

雷サージの減衰計算式について(麻生忠雄と共著), 電気四学会連合大会講演論文集, 568, 1959. 4.

高峻度インパルス発生用開閉素子(河村達雄・本間善勝と共著), 電気学会東京支部大会講演論文集, 17, 1959. 11.

均一汚損時の閃絡現象について(藤田良雄と共著), 電気学会東京支部大会講演論文集, 222, 1959. 11.

教授 高木 昇

非破壊検査とエレクトロニクス, エレクトロニクス, 4, 3, 233, 1959. 3.

ウィーンの IIW に出席して, 非破壊検査 8, 1, 4, 1959. 1, 2.

同上, 同上, 8, 3, 109, 1959. 5, 6.

超音波検査, 精密工学講座 VI-7, 材料の検査.

IGY 観測ロケット航跡標定方式について(黒川・松山と共著), 電気四学会連合大会講演論文集, 1085. 1959. 4.

IGY ロケット観測に使用したエレクトロニクス, 電子科学, 9, 3, 31, 1959. 5.

人工衛星とエレクトロニクス, 電子技術, 1, 2, 6, 1959. 7.

フェライト工業の現状と問題点, アトム, 8, 4, 56, 1959. 8.

宇宙ロケットの話, 電気通信, 23, 157, 31, 1960. 1.

教授 森脇 義雄

Realization of Boolean polynomials based on incidence matrices (S. Okada, K. P. Young と共著), 1959 Eastern Joint Computer Conference. 1959. 12.

教授 斎藤 成文

Power Theorem より見た電子ビーム雑音軽減法, 電気通信学会誌, 42, 3, 221, 1959. 3.

ビーム形パラメトリック増幅器, 電気通信学会誌, 42, 4, 343, 1959. 4.

Parametric Elements を含む伝送回路, 電気通信学会誌, 42, 6, 573, 1959. 6.

パラメトリック増幅器回路, 電気通信学会誌, 42, 6, 632, 1959. 6.

パラメトリック増幅器の雑音指数, 電気通信学会誌, 42, 8, 779, 1959. 8.

電子ビーム電磁回路論, オーム社, 1960. 1.

助教授 安達 芳夫

ゾーン精製の理論(有限長インゴットの終端が不純物密度曲線に及ぼす影響について),

(磯村滋宏と共著), 昭 34 年電気四学会連合大会講演論文集, 2, 910, 1959. 4.

電子部品の進歩, エレクトロニクス, 4, 10, 1064, 1959. 10.

#### 助教授 野村 民也

わが国における観測ロケットのテレメータ装置について, 電子工業, 8, 5, 425~436, 1959. 5.

ダイオード・コンデンサ記憶装置について (五十嵐良と共著), 電子計算機専門委員会資料, 1960. 2.

カップ・ロケットのエレクトロニクスについて (黒川兼行と共著), 航空電子機器専門委員会資料, 1959. 4. 27.

ロクーン・テレメータリングについて (斎藤成文と共著), 航空電子機器専門委員会資料, 1960. 1. 28.

観測ロケットのエレクトロニクス, 山梨大学学術講演会予稿, 1959. 10. 30.

Telemetry System of Kappa Rocket(高木昇と共著), 1959 Symposium on Rockets and Astronautics, 1959. 5.

Tracking Radar Systems of Kappa Rocket (高木昇・黒川兼行と共著), 1959 Symposium on Rockets and Astronautics, 1959. 5.

パルス発生回路の基礎, 電子回路の講習会テキスト, 日刊工業, 1959. 10.

宇宙空間の科学, 第II章 § 6, 7, 白桃書房, 1960. 2.

電子計算機—アナログ計算機編, 第 2, 3 章, オーム社, 1959. 4.

#### 助教授 尾上 守夫

トランジスタ高周波定数測定用ブリッジ, 昭和 34 年度電気通信学会全国大会講演論文集, 332, 1959. 10.

広帯域周波数合成装置, 電気学会東京支部大会論文集, 99, 1959. 11.

フェライトを使用した遅延線路 (山田博章と共著), 電気通信学会超音波研究専門委員会資料, 1959. 12. 11.

電気機械波器の定数測定法, 電気通信学会電気音響研究専門委員会資料, 1960. 2. 5.

水中超音波音線の一計算法, 電気通信学会超音波研究専門委員会資料, 1960. 2. 15.

高周波水晶波器, エレクトロニクス, 5, 3, 1960. 3.

自動プログラミング, 日本電子工業振興会電子計算機センター・テキスト, 1959. 9.

#### 助教授 黒川 兼行

1000 Mc 帯におけるフェライトテンソル透磁率の測定法 (岡田三男と共著), 電気四学会連合大会講演論文集: 下, 815, 1959. 4.

週期構造をもつ進行波型パラメトロン増幅器 (斎藤成文と共著), 電気四学会連合大会講演論文集: 下, 821, 1959. 4.

損失ある分布型パラメトリック増幅器の姿態理論 (浜崎襄二と共著), 電気通信学会マイクロ波伝送研究専門委員会, 1959. 5. 21.

分布型パラメトリック増幅器の一解析法 (浜崎襄二と共著), 電気通信学会雑誌 42, 6,

579~585, 1959. 6.

Mode theory of lossless periodically distributed parametric amplifiers(浜崎襄二と共著), IRE Trans. MTT-7, 3, 360~365, 1959. 7.

ミリ波姿態解析器 (本田均と共著), 電気通信学会全国大会論文集, 2, 203, 1959. 10.

ミリ波伝送線路の Q の測定法 (岡田三男・本田均と共著), 電気通信学会全国大会論文集, 2, 235, 1959. 10.

An extension of the mode theory to periodically distributed parametric amplifiers with losses (浜崎襄二と共著), IRE Trans. MTT-7, 1, 1960. 1.

損失を有する分布形パラメトリック増幅器の姿態理論, 電気通信学会雑誌, 43, 2, 132~137, 1960.

トンネルダイオードの話, 電気学会パラメトリック増幅器委員会資料, 3~7, 1959. 11.

助教授 浜崎 襄二

螺旋回路を用いた 1000 Mc 帯単向管(田村顕雄と共著), 電気通信学会全国大会論文集, 2, 190, 1959. 10.

2 芯同軸線路を用いた 1000 Mc 帯サーキュレータ (木村隆英と共著), 電気通信学会全国大会論文集, 2, 194, 1959. 10.

ダイオードを用いた共振器型パラメトリック増幅器 (亀尾要道と共著), 電気通信学会全国大会論文集, 2, 213, 1959. 10.

技官 河村 達雄

高速度掃引式シングルチャネル波高分析器 (森脇義雄と共著), 第 3 回日本アイソトープ会議論文集, I-5, 1959. 9.

波高分析器用パルス分配回路 (森脇義雄・寺川俊昭と共著), 電気通信学会全国大会講演論文集, 377, 1959. 10.

助手 石橋 泰雄, 技官 市川 初男

超音波濃度計 (松山宏と共著), 昭和 33 年度電気通信学会全国大会講演論文集, 63, 1958. 10.

超音波濃度計, 電気通信学会超音波研究専門委員会資料, 1959. 3.

助手 後川 昭雄

合金型  $pn$  接合の微小交流特性—(ベース幅が無限長の場合)—, 電気四学会連合大会予稿, 951, 1959. 4.

合金型  $pn$  接合の微小交流特性—(有限長ベース幅の場合)—, 電気通信学会全国大会予稿, 320, 1959. 10.

## 第 4 部

教授 高橋 武雄

分光光度計の自動記録装置の試作研究(三宅信午・仁木栄次・山本啓太と共著), 工業化学雑誌, 62, 5, 636~639, 1959. 5.

The Separation of Thorium (IV) and Cerium (III) Ions by Using Alginate as Cation

- Exchanger (三宅信午と共著), Bull. Chem. Soc. Jap., **32**, 8, 879, 1959. 8.
- Characteristic Property of Alginic Acid as a Cation Exchanger and its Application for the Separation of Thorium and Cerium Ions (三宅信午と共著), Bull. Chem. Soc. Jap., **32**, 12, 1324~7, 1959. 12.
- アルギン酸の放射性廃液処理における応用の研究 (Sr の捕捉に関する予備的研究) (江村悟と共著), 第3回原子力シンポジウム報文集, **2**, 49~52, 1959. 10.
- 新分析化学講座 **2**, 微量電気分析法, クロマトリー, 共立出版株式会社, 1960. 3.
- 連続自動分析, 分析化学進歩総説第3集, 1959. 12.
- Spectrophotometric Determination of Thorium with Neothorone (三宅信午と共著), TALANTA, **3**, 2, 155~159, 1959. 12.

教授 永井 芳男

- インダンスロンの連続的製法, 工業化学雑誌, **62**, 3, 485, 1959. 3.
- 4,5-ジクロル・ナフタル-N-メチルイミドとベンゾアントロンとのナトリウムアルコラートによる縮合 (アセナフテンに関する研究, 第6報) (後藤信行と共著), 工業化学雑誌, **62**, 5, 699, 1959. 5.
- 2,4,5-および 3,4,5-トリクロル無水ナフタル酸の合成 (アセナフテンに関する研究, 第7報) (後藤信行と共著), 工業化学雑誌, **62**, 5, 703, 1959. 5.

教授 金森 九郎

- 吹精による溶銑の脱 Cr に関する予備実験(館充と共著), 鉄と鋼, **45**, 11, 1241~1247, 1959. 11.

教授 菊池 真一

- Sur l'effet photovoltaïque des halogénures d'argent (Y. Hamano と共著), Bull. Chem. Soc. Japan **33**, 1, 1960. 1.
- Se 感光板の温度, 湿度の影響(野崎弘・坂田俊文と共著), 電子写真, **1**, 2, 39, 1959. 11.

教授 山本 寛

- 2-ブタノールと水, 2~3 の炭化水素との気液平衡 および 溶解度について (丸山隆と共著), 化学工学, **23**, 10, 635~641, 1959. 10.
- 飛沫同伴とその除去について——蒸発装置による除染特性——(三石・大山と共著), 化学工学, **23**, 10, 648~655, 1959. 10.
- 大型蒸発装置の飛沫同伴とその除去——液状放射性廃棄物の蒸発処理 (三石・阪田・松田と共著), 日本原子力学会誌, **1**, 6, 363~369, 1959. 11.
- 核分裂生成物の生成と放射能の計算 (石原・岩本と共著), 第3回原子力シンポジウム論文集, 73~75, 1959.
- 液状放射性廃棄物の蒸発除染特性について (大山・三石・松田と共著), 第3回原子力シンポジウム論文集, 45~48, 1959.
- 放射性廃液のドラム缶詰投棄処理法の安全面 および 経済面よりの検討 (石原と共著),



第3回原子力シンポジウム論文集, 70~72, 1959.

日本原子力研究所における廃棄物処理場の建設 (伊藤・他9氏と共著), 第3回原子力シンポジウム論文集, 40~45, 1959.

Treatment of Radioactive Waste at Japan Atomic Energy Research Institute (伊藤・他3氏と共著), The Scientific Conference on the Disposal of Radioactive Wastes at Monaco, 1959. 5.

#### 教授 浅原 照三

エチンと四塩化炭素とのテロメリゼーションにおける  $C_2H_4-CCl_4$  系飽和溶液の容積増加の影響 (高木行雄と共著), 工化誌, **62**, 7, 935~939, 1959. 7.

脂肪酸ビニルとアクリロニトリルとの共重合体の分子量およびその分布について (三橋啓了と共著), 油化学, **91**, 33~7, 1960. 1.

脂肪酸ビニルとアクリロニトリルの共重合体の二三の性質について (三橋啓了と共著), 油化学, **92**, 67~91, 1960. 2,

プロパンの気相ニトロ化 (近藤隆義・浜田逸郎と共著), 工化誌, **62**, 1659~1661, 1959.

ニトロパラフィンの合成およびその応用 (近藤隆義と共著), 石油および石油化学, **3**, 42~48, 1959.

界面活性剤水溶液による顔料の比重測定 (早野茂夫・井上久雄と共著), 色材協会誌, **32**, 425~7, 1959.

#### 助教授 野崎 弘

電子写真の範囲, 電子写真学会誌, 2, 1960.1.

Theory on photosensitivity and Development in Silver Bromide Emulsion, Comptes-rendus du Colloque International de photographie Scientifique, Liège, 1959.

#### 助教授 加藤 正夫

同位体希釈分析による船底塗料毒物溶出速度の測定 (大段康治・鈴木荘司と共著), 第3回日本アイソトープ会議論文集, T-5, 1959.9.

放射能追跡子によるエンジン摩耗の研究 (第2報) —中性子衝撃による放射性ピストンリングについて— (津田野敏・高井義郎・梅原明と共著), 第3回日本アイソトープ会議論文集, T-11, 1959.9.

$^{90}Sr$  による避雷器放電間隙の不整除去について (戸村文夫・吉中陽一郎と共著), 第3回日本アイソトープ会議論文集, T-25, 1959.9.

工業における将来性ある核種, 第3回日本アイソトープ会議論文集, パネル討論会, 1959.9.

アルミニウム箔粉の製造に関する研究 (原善四郎と共著), 軽金属, **9**, 60~68, 1959.11.

Zn 地金と不純物の挙動, 日本金属学会第45回講演大会第8分科会シンポジウムへの提出論文, 1959.11.

原子炉用 Al 合金に関する共同研究の中間総合報告, 日本金属学会第 44 回講演大会原子炉用 Al および Mg に関するシンポジウムへの提出論文, 1959. 4.

原子炉用 Al 合金に関する研究, (共同研究) 軽金属協会発行, 1960. 3.

放射性同位元素の工業への応用, 第 1 回放射線防護課程講習会テキスト, 放射線医学総合研究所・養成訓練部, 1959. 3.

放射性追跡法の工業的応用, アイソトープの工業利用技術講習会テキスト, 科学技術庁・通産省・東京都共催, 1959. 3.

Isotopes in Industry: Text Book of Radioisotope Training Course for IAEA Fellows, 日本原子力研究所アイソトープ研修所, 1959. 9.

#### 助教授 山辺 武郎

Permeability of Amino Acid across Ion Exchange Membranes (妹尾学, 高井信治と共著), Bull. Chem. Soc. Japan, **32**, 12, 1383, 1959. 12.

#### 助教授 中村 亦夫

ブドウ糖の酸性溶液中の加熱による着色と 5-オキシ・メチル・フルフラールの量的関係 (吉弘芳郎と共著), 工化誌, **62**, 1, 157, 1959. 1.

ブドウ糖水溶液の pH と加熱による着色との関係 (吉弘芳郎と共著), 工化誌, **62**, 1, 161, 1959. 1.

結晶ブドウ糖製造用連続糖化装置 (吉弘芳郎・日暮幸一郎と共著), 工化誌, **62**, 2, 323, 1959. 2.

#### 助教授 武藤 義一

連続自動濃度変化装置の試作と化学分析への応用 (間宮真佐人・雨宮稔起と共著), 工化誌, **62**, 5, 626~628, 1959. 5.

ロジジン酸バリウムによる苦汁, かん水および食塩中の硫酸イオンの光度定量法 (岡宗次郎・和田芳裕と共著), 日本塩学会誌, **13**, 6, 312~318, 1959. 12.

化学工業辞典 (無機篇) (編集および一部執筆), 東京堂, 1959. 12.

無機化学ハンドブック (編集および一部執筆), 技報堂, 1960. 2.

電解・電量分析, 第 1 回分析機器取扱講習会テキスト (分析化学会関東支部主催), 1959. 2.

比色分析, 第 2 回分析機器取扱講習会テキスト, 1960. 1.

#### 助教授 今岡 稔

ガラス化条件について, 窯協, **67**, 364, 1959. 11.

#### 助手 白井ひで子

交流ポーラログラムに対する溶存酸素の影響, 分析化学, **8**, 5, 311~314, 1959. 5.

交流ポーラログラフイーの研究 (I) 亜鉛の第 2 波および第 3 波について, 日化, **80**, 6, 609~612, 1959. 6.

同 (II), 水酸化カリウム支持塩中の銅の還元波について, 日化, **80**, 12, 1435~1439,

1959. 12.

## 第 5 部

### 教授 渡辺 要

建築設備ハンドブック (外一名と共編), 朝倉書店, 1959. 5.

暖房設計用戸外気温, 日本建築学会論文報告集, 63, 5~8, 1959. 10.

木毛セメント板の共鳴型吸音特性について(木村翔と共著), 同上, 63, 137~140, 1959. 10.

世田谷区民会館の音響について(石井聖光・木村翔と共著), 同上, 63, 141~144, 1959. 10.

防寒建築の設計について, 北方建築, 2, 3, 18~24, 1959.

### 教授 坪井 善勝

Theory of antisymmetrical bending for thin spherical shell. (秋野金次と共著), Symposium of theory of thin shell, At Delft Holland, 1959. 8.

球形殻の非対称曲げ理論 (3)——起球函数の数値計算——(秋野金次と共著), 日本建築学会論文報告集, 63, 1959. 10.

鉛直荷重を受ける4次曲面シェル(青木繁・川口衛・高橋敏雄と共著), 日本建築学会論文報告集, 63, 1959. 10.

4次曲面シェルにおける水平スラストの効果(青木繁・川口衛・高橋敏雄と共著), 日本建築学会論文報告集, 63, 1959. 10.

鉛直荷重をうける4次曲面シェル, 日本建築学会論文報告集, 63, 1959. 10.

波型折面構造の仕口に関する実験的研究(矢代秀雄と共著), 日本建築学会論文報告集, 63, 1959. 10.

組合せ応力のもとにおけるコンクリートの破壊に関する研究(末永保美と共著), 日本建築学会論文報告集, 64, 1960.

### 教授 関野 克

富岡製絲場とその機能的伝統(伊藤鄭爾・村松貞次郎と共著), 日本建築学会論文報告集, 63, 645~648, 1959. 10.

### 教授 高山 英華

新宿副都心地区再開発調査報告, その1, 東京都首都建設部, 1958. 3.

同上 その2, 同上 1958. 10.

池袋副都心地区再開発調査報告, 東京都首都建設部, 1959. 3.

### 助教授 勝田 高司

箱形消音器の消音特性に関する実験(2)および(3)(後藤滋・寺沢達二・谷保保造と共著), 日本建築学会関東支部第26回研究発表会, 1959. 6.

嵌殺し窓の気密・水密試験(後藤滋・寺沢達二と共著), 同上.

箱形消音ユニットの消音特性について(第1報)(同上), 日本建築学会論文報告集, 62, 79~85, 1959. 6.

暖房負荷に対する隙間風の計算法, 衛生工業協会誌, **33**, 7, 331~337, 1959. 7.  
引き違い形式金属建具の気密水密試験 (後藤滋・寺沢達二と共著), 日本建築学会論文報告集, **63**, 85~88, 1959. 10.  
箱形消音ユニットの消音特性について (第2報) (同上), 同上, 129~132.  
輪形吹出吸込口について (後藤滋・寺沢達二・小山義翁と共著), 日本建築学会関東支部第27回研究発表会, 1960. 1.  
上げ下げ窓の気密・水密試験について (後藤滋・寺沢達二と共著), 同上.  
吹出口ユニットに用いるダンパーの気流による発生音について, (同上), 同上.  
消音吹出口ユニットの総合特性について, (同上), 同上.

#### 助教 井口 昌平

フランス水文学おぼえがき, 日仏工業技術季刊, **5**, 4, 1959. 10.  
河川の水位観測資料による河床変動の経過の推定, 昭和33年度文部省科学試験研究費補助金による洪水の地球物理学的研究報告書, 1959. 4.

#### 助教 三木五三郎

土質安定の理論と実際 (山内豊聰と共著), p. 284, オーム社, 1959. 5.  
サウンディング試験結果の実用性, 土木学会第14回年次学術講演会講演概要, 59~60, 1959. 5.  
赤土土地における各種サウンディング方法の比較実験とその実用性の検討, 土と基礎特集号1, 14~23, 1959. 8.  
現場におけるトラフィカビリティーの判定法, 第5回日本道路会議一般論文要旨, 105~106, 1959. 10.  
Geotechnical properties of volcanic ashes occurring in Japan, Proc. of the 1st Asian Regional Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering. 1960. 2.

#### 助手 後藤 滋

箱型消音器の減衰特性について(1), (2), 日本音響学会講演論文集, 137~140, 1959. 5.  
同上 (3), (4), 同上, 63~66, 1959. 11.

#### 助手 村松貞次郎

幕末・明治初期洋風建築の小屋組とその発達, 日本建築学会論文報告集, **63**, 641~644, 1959. 10.  
日本建築技術史—近代建築技術の成り立ち—, 地人書館, 1960. 11.

#### 助手 伊藤 鄭爾

日本の民家全 10 卷 (写真・二川幸夫と共著), 1958. 9~1959. 11.  
第1卷: 大和・河内, 第2卷: 高山・白川, 第3卷: 武蔵・両毛, 第4卷: 山陽路, 第5卷: 陸羽・岩代, 第6卷: 北陸路, 第7卷: 信州・甲州, 第8卷: 四国路, 第9卷: 西海路, 第10卷: 京・山城.